

授業科目名	薬理と薬剤	担当教員	教授 橋本 龍樹ほか		
開講年次及び学期	2年前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
授業の目的（概要）					
薬物と生体の相互作用の結果起こる現象と、その機構を理解し、薬物による疾病の治療や再発予防に関する理論的な基礎を学ぶ。また、主要な疾患に用いる薬物について作用機構、薬物の特徴、使用時における看護師としての注意点などを学ぶ。さらに薬物による副作用や相互作用および薬剤の管理と与薬について学ぶ。					
学修成果（到達目標）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品を正しく、効果的に用いるために必要な事項について説明できる。 2. 医薬品と関わりのある法令のうち、看護の現場に必要な事項を説明できる。 3. 医薬品と生体の反応について理解し、説明できる。 4. 主な治療薬について、使用される疾患と治療薬の特徴を説明できる。 5. 医薬品の副作用、相互作用について理解し、説明できる。 					
キーワード					
末梢神経作用薬、中枢神経作用薬、循環器系治療薬、抗感染症薬、抗腫瘍薬、免疫治療薬					
授業の進め方					
講義					
成績評価の方法（合否基準）					
定期試験の成績100点満点のうち60点以上を合格とする					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
【教科書】 「系統看護学講座、専門基礎5、薬理学」大鹿英世、吉岡充弘編著、					
オフィスアワー					
質問等随時 E-mail: ryuju@med.shimane-u.ac.jp					
モデル・コア・カリキュラムとの関連					
C-5-4)-(1) 薬物及び薬物投与による人間の反応 ねらい：的確な薬物療法を行うために必要な基本的な考え方（薬理作用、有害事象、与薬時の注意事項）と看護援助を学ぶ。 学修目標： ① 薬物の作用点（受容体、イオンチャンネル、酵素、トランスポーター）を説明できる。 ② 薬理作用を規定する要因（用量と反応、親和性等）や薬物動態（吸収、分布、代謝、排せつ）を説明できる。 ③ 薬物の蓄積、耐性、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。 ④ 薬物相互作用とポリファーマシーについて概説できる。 ⑤ 薬物の投与方法（経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻等）の違いによる特徴と看護援助を説明できる。 ⑥ 小児期、周産期、老年期、臓器障害、精神・心身の障害時における薬物投与の注意点と看護援助を説明できる。 ⑦ 主な治療薬（末梢神経系に作用する薬、中枢神経系に作用する薬、循環器系に作用する薬、血液に作用する薬、呼吸器系に作用する薬、消化器系に作用する薬、内分泌・代謝系に作用する薬、腎・尿路系に作用する薬、感覚器系に作用する薬、生殖器系に作用する薬、免疫系に作用する薬、予防接種、抗感染症薬、消毒薬、抗アレルギー薬、抗炎症薬、抗腫瘍薬、分子標的薬、医療用麻薬、麻酔薬、主な和漢薬（漢方薬））の作用、機序、適応、有害事象及び看護援助を説明できる。 ⑧ 薬物の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。 ⑨ 薬物管理の基本的知識と注意事項を説明できる。 ⑩ 薬害について概説できる。 ⑪ 薬剤の職業性ばく露について説明できる。					

授業計画

回	日程	時間	実施方式	テーマ	授業内容	担当者
1	4月8日	14:55～ 16:35	オンデマンド	総論1	薬理学の概念、薬物受容体、薬理作用について学ぶ。	小林先生
2	4月15日	〃	〃	総論2	薬物体内動態、薬効に影響を与える要因について学ぶ。	小林先生
3	4月22日	〃	〃	末梢神経作用薬1	自律神経作用薬概論、交感神経作用薬について学ぶ。	橋本
4	5月6日	〃	〃	末梢神経作用薬2	副交感神経作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬について学ぶ。	橋本
5	5月13日	〃	〃	中枢神経作用薬1	全身麻酔薬、催眠薬と抗不安薬、麻薬性鎮痛薬について学ぶ。	橋本
6	5月20日	〃	〃	中枢神経作用薬2	向精神薬、抗うつ薬、パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬について学ぶ。	橋本
7	5月27日	〃	〃	心臓・血管系作用薬1	うっ血性心不全治療薬、抗不整脈薬、強心薬、狭心症治療薬、循環器系救急蘇生薬について学ぶ。	橋本
8	6月3日	〃	〃	心臓・血管系作用薬2	高血圧治療薬、利尿薬、脂質異常症治療薬、血液造血系作用薬について学ぶ。	橋本
9	6月10日	〃	〃	呼吸器系・消化器系作用薬	喘息治療薬、鎮咳薬、消化器系疾患治療薬について学ぶ。	橋本
10	6月17日	〃	〃	生殖器系作用薬と物質代謝に関連する治療薬	生殖器系作用薬、ホルモンおよびホルモン拮抗薬、ビタミンについて学ぶ。	橋本
11	6月24日	〃	〃	抗感染症薬1	抗感染症薬の作用機序と主な薬剤について学ぶ。	福田先生
12	7月1日	〃	〃	抗感染症薬2, 抗腫瘍薬	特別な抗菌薬と抗腫瘍薬の作用機序と主な薬剤、副作用とその対策について学ぶ。	福田先生
13	7月8日	〃	〃	免疫治療薬、抗アレルギー、抗炎症薬	免疫治療薬、抗ヒスタミン薬、エイコサノイド、非ステロイド性・ステロイド性抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風治療薬について学ぶ。	福田先生
14	7月15日	〃	〃	皮膚科・眼科用薬、漢方薬、消毒薬	皮膚科・眼科用薬、消毒薬について学ぶ。	福田先生

備考